

2022年1月15日



森と海の自然科 活動記録

## 京都水族館見学と初詣(六孫王神社)

テーマ：海、担当；Bグループ

**日時** 2022年1月13日(木)  
**集合** JR京都駅西口改札口(2F)前広場 10時30分  
**訪問地** 京都水族館、六孫王神社  
**参加者** 20名

### 概要と感想

年明け2回目の活動は一昨年から企画されてはコロナ禍のため延期となっていた京都水族館見学です。隣にある朱雀の庭散策はまたの機会とし、正月でもあり発詣としてJRの線路を挟んで向こう側の六孫王神社にお参りしました。京都水族館は地元京都に因んだ展示(オオサンショウウオや丹後湾の魚など)と一般的な展示とを組み合わせた内容の小さいながらも綺麗な水族館。特にクラゲのコーナーは充実しています。また、童心に帰りイルカショーも楽しみました。

### 行程

10:30 JR京都駅をスタート、徒歩で京都水族館へ  
10:50 梅小路公園経由で京都水族館到着、団体受付  
11:00 館内見学開始(オオサンショウウオ、ペンギン、オットセイ、クラゲなど)  
12:20 昼食(館内カフェテラスなどで)  
13:30 イルカショー見学  
14:10 水族館退館、六孫王神社へ徒歩で向かう  
14:25 六孫王神社に到着、お参り 清和源氏の簡単な説明  
14:40 神社前で解散、JR・近鉄京都駅へ

### 内容

#### ①京都水族館見学で印象に残ったこと

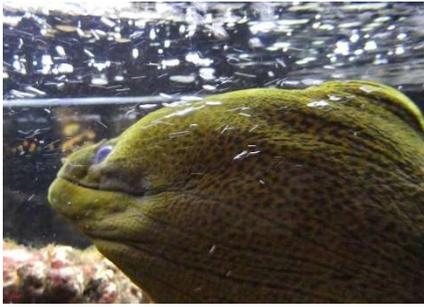
- 水族館の目玉の一つである「オオサンショウウオ」は大きくて存在感がありました。外来種との交雑が進んで在来固有種があまりいなくなっているとのこと、びっくりしました。植物の外来種・交雑種は身近な問題と認識していましたが、オオサンショウウオも・・・
- クラゲの展示は行き届いていて、生態とまだ未解明な点がうまく整理され、神秘的な雰囲気が印象的です。地道な研究が行われているのでしょう。
- 館内の担当者の餌やりに遭遇でき、特別な解説も聞けてラッキーでした。魚への愛情が感じられ、感じがよかったです。



在来種と確認されているオオサンショウウオ



イワシの群れとエイ



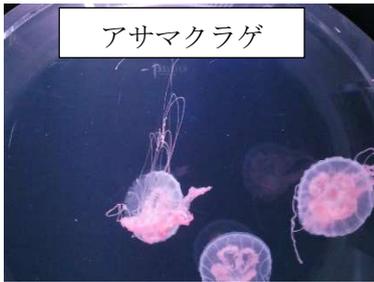
意外とかわいい顔のウツボ



エサに食らいつくカサゴ



同じくエサにいく様子



アサマクラゲ



クラゲのラボ



えさを待つペンギンたち



②六孫王神社の参拝 京都市南区で新幹線の線路際にある神社

- 清和源氏始祖の源経基を祭神とする神社。経基は清和天皇第六皇子の貞純親王の子で、天皇の孫であることから「六孫王」と称されるとのこと。
- 本殿後方に残る石の基壇は経基のお墓とされるが立ち入りは出来ないので、確認できず。
- 経基の子が満仲で、そこから摂津(多田源氏)、大和源氏、河内源氏に分かれ、河内源氏が最も勢力を持った。源頼朝、義経もこの系統に属する。